

2026 年 10 月 26 日

報道機関 各位

【プレスリリース】社会的養護下の子どもたちの支援者への一助に
社会的養護下の子どもの性問題行動に対するマニュアルを刊行

島根大学医学部看護学科地域・老年看護学講座 榊原文講師、島根県立大学人間文化学部保育教育学科 藤原映久教授は、社会的養護下における子どもの性問題行動への対応に関する共同研究の成果を実践マニュアルにまとめました。

◆本件のポイント！

- ◇ 社会的養護下の子どもの性問題行動への対応について、予防から介入までを体系的に整理
- ◇ 児童相談所、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、里親等の実務者を対象とした実践マニュアル
- ◇ 子どもへの対応に加えて、児童相談所と施設の連携や組織的対応プロセスを解説
- ◇ Q&A や予防教育プログラム、職員研修プログラムを掲載し、現場で活用可能



◆研究・出版の背景

社会的養護の現場では、子どもの性問題行動への対応が重要な課題となっています。2018 年に児童養護施設等における子ども間の性被害・性加害が報道され、全国調査によって施設内で性問題行動が発生している実態が明らかになり、未然の予防と発生時の適切な対応体制の整備が課題となっています。

社会的養護下の子どもの中には、虐待や不適切な養育環境などの逆境体験を有する子どもが少なくありません。こうした体験は、対人関係の築き方や性に関する理解、感情表現などに影響を及ぼすことがあります。また、社会的養護下では、様々な年齢や発達段階の子どもが集団で生活しており、子ども同士の関わりが密接であることから、性的なトラブルや性問題行動が生じるリスクへの配慮が求められます。そのため、性問題行動への対応においては、子ども個人への支援だけでなく、安全な生活環境の整備や組織的な予防体制の構築が重要となります。

これまで、子どもの性問題行動や性的被害・加害への支援に関する書籍は出版されてきましたが、社会的養護下における性問題行動の予防から介入までの流れを整理し、児童相談所や施設等の組織的な対応や連携のあり方を含めて解説した実践書は多くありませんでした。

そこで、これまで社会的養護における子どもの性問題行動の予防や支援に関して取り組んできた研究成果と実践経験をもとに、児童相談所、社会的養護関係施設、里親等が連携しながら子どもの安全を守るための予防・介入方法と支援システムについて、実践的な解説書を執筆しました。



◆本書のポイント

1. 子どもの性問題行動を理解するための基礎知識を解説

性問題行動の背景や要因、社会的養護下の子どもへの理解、支援にあたって大切な視点について整理しています。問題行動への対処だけではなく、子どもの育ちや発達を踏まえた理解を重視しています。

2. 予防から介入までの対応プロセスを体系化

性問題行動を未然に防ぐための環境づくりや日常的な取り組みから、問題発見後の初期対応、アセスメント、支援方針の検討、再発防止までを一連の流れとして整理しています。児童相談所と施設等の連携を含め、組織的な対応の進め方を示しています。

3. 現場ですぐに活用できるプログラムを収載

子どもへの予防教育プログラムや職員研修プログラムを掲載し、性問題行動の予防や組織的な取り組みを実践するための具体的方法を紹介しています。

4. Q&A 形式で現場の悩みに応える

「これは性問題行動に当たるのか」「被害を受けた子どもへの対応はどうすればよいのか」など、現場で生じやすい疑問や判断に迷う場面を Q&A 形式で解説しています。

◆本書に込めた思い

性は、人が生まれながらに持つ自然なものであり、人とのつながりや親密な関係を築いていくうえで重要な側面を持っています。そのため、子どもの性問題行動への対応は、「問題をなくすこと」だけを目指すのではなく、子どもが他者を尊重しながら健全な人間関係を築き、将来にわたって豊かに生きていくための支援として捉えることが重要です。

本書では、子どもに「どのような大人になってほしいか」という視点を大切にしながら、子どもの権利を守り、その健やかな成長を支えるための予防と支援のあり方を検討しました。本書が、社会的養護に携わる支援者をはじめ、子どもの育ちに関わる多くの方々の実践の一助となることを願っています。

◆主な対象読者

児童相談所職員、児童養護施設職員、児童自立支援施設職員、児童心理治療施設職員、児童家庭支援センター職員、里親・ファミリーホーム養育者、自治体の児童福祉担当者、学校関係者、保健・医療・心理・福祉専門職

◆書籍情報

書名：『社会的養護下の子どもの性問題行動対応マニュアル
ーQ&A とプログラムでわかる予防・介入のヒントー』

著者： 榊原 文・藤原映久

出版社：岩崎学術出版社

◆論文情報

- ・ 榊原文，藤原映久：児童養護施設入所児童の性問題行動についてー児童養護施設職員へのフォーカス・グループ・インタビューを通じてー。子どもの虐待とネグレクト（日本子ども虐待防止学会学術雑誌）12（3）：386-397，2010.
- ・ 榊原文，藤原映久：児童養護施設入所児童に対する性（生）教育プログラムの効果測定。子どもの虐待とネグレクト（日本子ども虐待防止学会学術雑誌）13（3）：396-408，2011.
- ・ 榊原文：児童相談所保健師が行う『性被害児のための性教育プログラム』の作成と評価。島根大学医学部紀要 37：37-42，2015.
- ・ 藤原映久，榊原文：子どもの性行動の理解と対応に関する児童養護施設職員向け研修プログラムの開発と実施。島根県立大学短期大学部松江キャンパス研究紀要 53：147-154，2015.

◆本件の連絡先

【研究・著書に関すること】

島根大学医学部看護学科 地域・老年看護学講座

講師 榊原 文

E-mail: aya(at)med.shimane-u.ac.jp

TEL:0853-20-2337

【取材に関すること】

島根大学医学部総務課企画調査係（広報担当）

E-mail: mga-koho(at)office.shimane-u.ac.jp

TEL:0853-20-2531

島根県立大学松江キャンパス管理課

E-mail: m-kouhou(at)u-shimane.ac.jp

TEL:0852-26-5525

※(at)はアットマーク